

令和7年度 事業報告

I 概 要

令和7年12月8日に発生した青森県東方沖を震源とする地震により被害を受けられました皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

さて、令和7年度は、団塊の世代が75歳以上になり、国民の5人に1人が後期高齢者となりました。約800万人もの団塊の世代が一斉に後期高齢者入りすることで、社会保障費の増大や医療・介護需要の急増、労働力不足などのさまざまな問題に直面することとなります。八戸市においても少子高齢化が一段と進展している一方、人口は減少し続け、2050年には中核市の指定要件である人口20万人を割り込む見通しが示されています。特に若者の県外流出などの要因により生産年齢人口（15才～64才）の減少は続き、人手不足感は一向に収まる気配はありません。当市の労働市場の状況について、令和8年1月の有効求人倍率は1.38倍と県全体の1.11倍、全国の1.28倍よりも高い数値を示しており、依然として人手不足感が顕著となっています。

このような厳しい状況の中ではありますが、人手不足に苦慮する事業所等の下支えに貢献するため、仕事の発注依頼を働きかけるとともに、会員拡大を最重点課題として取り組んできたところですが、令和7年度の会員数の目標は達成することはできませんでした。しかし3年連続で前年度の会員数を上回り、さらには夫婦会員登録者数についても令和6年度より14組28人増加して76組152人となりました。

会員の就業関係については、センターの基幹事業である請負就業に加えて、労働者派遣や職業紹介とも堅調に推移しました。特に職業紹介については、国勢調査や国民スポーツ大会等大規模イベントに関連した短期の就職者数が大幅に伸びています。また、フリーランス法の趣旨を踏まえた対応として、個人・一般家庭の受注について、新たな契約方法（包括契約）への変更を実施しました。

他方で、会員の高齢化が進む中、安全就業対策も重要な課題となっており、これまでの事故状況等を踏まえ、パトロールによる注意喚起に加え、職群班に対して全シ協発行の『安全ニュース』を送付するなど、事故事例等を「他人ごと」ではなく「自らのこと」として認識するよう安全意識の徹底を図りましたが、事故件数は傷害・損害事故ともに増加しました。

令和7年度の『はちのへシルバー人材センター生き活きまつり』は、会場をラピアに移しての初開催となりましたが、予想以上の来場者に対し、普及啓発委員会を中心とした参加会員全員が一丸となって、シルバー事業の普及啓発を展開しました。また、デジタル社会の到来を踏まえ、会員がデジタル化から取り残されないよう、スマホ教室を開催し、デジタル技術の向上に努めるとともに、スマホを活用した業務連絡、または事務量の増加に伴う合理化・効率化を図るため『スマイルトゥスマイル』への登録を推進しました。

以下、個別の事業実施状況を報告します。

II 事業実績

1 第7次中期計画

本計画令和7年度の目標が着実に達成されるよう、積極的かつ効果的な取組みを展開しました。目標値の達成状況は次のとおりです。

① 目標と実績との対比

会員数は1,344人の目標に対し30人及ばず、達成率は97.8%でした。契約金額は目標額626,000,000円に対し、実績は752,758,214円と目標を大きく上回り達成率120.2%となりました。

した。就業延人員では達成率111.0%と目標を11,398人日上回りました。就業率は90%の目標に対して、実績は96.3%でした（表1）。

表1 項目別目標の達成状況

項目	令和7年度目標	令和7年度実績	増減	達成率(%)
会員数(人)	1,344	1,314	△ 30	97.8
契約金額(円)	626,000,000	752,758,214	126,758,214	120.2
就業延人員(人日)	103,200	114,598	11,398	111.0
就業率(%)	90.0	96.3	6.3	107.0

【各目標値は、受託事業（請負・委任・包括的契約に係る事業）と労働者派遣事業の合算値】

② 会員登録状況

会員の登録状況は、男性839人・女性475人（表2）、年齢別構成では70歳から74歳までの年齢層が全体の35.2%を占めています（表3）。平均年齢は全体で74.3歳（表4）、最高齢は男性92歳・女性97歳となっています（表5）。

表2 男女別構成

区分	令和7年度	令和6年度	増減
男性(人)	839	854	△ 15
女性(人)	475	457	18
合計(人)	1,314	1,311	3

表3 年齢別構成

区分	男(人)	女(人)	合計(人)	構成比(%)
60歳未満	1	2	3	0.2
60～64歳	26	17	43	3.3
65～69歳	127	101	228	17.4
70～74歳	314	148	462	35.2
75～79歳	264	140	404	30.7
80歳以上	107	67	174	13.2
合計	839	475	1,314	100.0

表4 平均年齢

男性	女性	全体
74.3歳	74.2歳	74.3歳

表5 最高年齢

男性	女性
92歳	97歳

Ⅲ 事業実施報告

1 就業機会提供事業

多様化する会員の働き方に対応するため、シルバー事業の根幹をなす受託事業のほか労働者派遣事業または有料職業紹介事業のいわゆる『事業の3本の柱』を基礎に、それぞれの仕組みに応じた活用を図り、就業機会の提供拡大に取り組みました。

(1) 受託事業（請負・委任）及び包括的契約に係る事業の拡大

会員の就業機会の確保に向けた潜在的な地域ニーズの掘り起こしや新たな就業分野の開拓を行うなど、センターの根幹をなす事業の一層の拡大に取り組みました。実績は、次のとおりです（表6）。

職群別契約金額の構成比では、庭木剪定・大工・塗装などの技能群、施設管理や物品管理などの管理群、屋内外軽作業など一般作業群の3職群で全体の95.8%を占めています（表7）。

表6 受託事業及び包括的契約に係る事業実績

項目	令和7年度	令和6年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	417,910,185	387,530,018	30,380,167	107.8
就業延人員(人日)	79,151	78,385	766	101.0

表7 職群別事業実績

職群別	受注件数(件)	就業延人員(人日)	契約金額(円)	構成比(%)
技術群	2	402	4,173,045	1.0
技能群	1,531	9,146	56,710,969	13.6
事務群	272	5,974	5,132,116	1.2
管理群	128	32,074	137,719,576	33.0
折衝外交群	0	0	0	0.0
一般作業群	2,745	29,619	205,820,141	49.2
サービス群	301	1,936	8,354,338	2.0
その他	0	0	0	0.0
合計	4,979	79,151	417,910,185	100.0

(2) 労働者派遣事業（シルバー派遣）の推進

シルバー事業の適正化の推進とともに多様化する就業形態に対応するため、労働者派遣事業を積極的に推進し、就業機会の拡大に努めました。実績は次のとおりです（表8）。

表8 労働者派遣事業実績

項目	令和7年度	令和6年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	334,848,029	308,148,958	26,699,071	108.7
就業延人員(人日)	35,447	35,832	△ 385	98.9

(3) 有料職業紹介事業の推進

臨時的、短期的またはその他の軽易な業務の雇用就業を希望する高年齢者に対する有料職業紹介事業を推進しました。実績は次のとおりです（表9）。

表9 有料職業紹介事業実績

区 分	求人件数（件）	求人数（人）	紹介者数（人）	就職者数（人）
令和7年度	37	180	183	183
令和6年度	37	115	115	115

2 就業機会確保事業

(1) 安全・適正就業対策の強化

① 安全就業対策

安全意識の徹底とその高揚を図り、事故の根絶に向けた取組みを下記のとおり実施しました。また、新たに厚生労働省のシルバー会員就業支援事業（委託事業）を活用して、アシストスーツ及びネッククーラーの就業支援機器を除草及び残材運搬就業会員に貸与し、会員の身体的負担軽減と猛暑対策を図りました。

令和7年度の事故件数は、傷害・損害とも昨年度より5件増加し、それぞれ14件となりました。傷害事故のうち7件は蜂刺されによるもので、重篤事故はありませんでした（表10）。

○ 具体的取組

- ア 安全・適正就業委員会による安全パトロールの実施（表11）
- イ 安全講習・研修の実施（表12-1、12-2）
- ウ 公園班・草刈班に対する飛び石防止用防護ネットの貸与
- エ 身体的負担軽減のためのアシストスーツや熱中症対策機器の貸与
- オ 事務局休業日および夜間における緊急連絡体制の整備
- カ 「事務局だより」を活用した安全就業および健康管理に関する情報の提供
- キ シルバー保険（傷害・賠償責任）及び情報漏えい保険への継続加入

表10 事故発生状況

	令和7年度	令和6年度	増 減
傷害事故（件）	14	9	5
損害事故（件）	14	9	5
合 計	28	18	10

表11 安全パトロール

期 日	場 所
7月24日	北インター工業団地・八戸市役所・個人発注者宅
7月29日	桔梗野工業団地・西霊園・個人発注者宅
8月13日	東霊園・西霊園・南郷中央霊園

表12-1 安全講習

講習会名	期 日	場 所 等	受講者数(人)
チェーンソー安全操作講習 (伐木造材作業従事者特別教育)	4月16日～18日	テクノルアイス パーク・新井田公園	12
刈払機安全操作講習	2月25日	児 童 科 学 館	12
送迎運転講習	2月28日	八戸モータースクール	19
除雪機安全操作講習	12月9日	東 霊 園	29
塵芥収集車安全教育講習	3月10日	東 霊 園	28
普通救命講習	3月19日	福 祉 公 民 館	32
合 計			132

表12-2 安全研修

職 群 班	期 日	場 所
公 園 班	3月12日	東 霊 園
庭 木 班	3月17日	福祉公民館
草 刈 班	3月18日	福祉公民館

② 適正就業対策

受託事業から派遣事業への移行やローテーション就業の拡大または職業紹介事業の積極的活用を推進することにより、就業の適正化に努めました。

(2) 普及啓発事業の展開

シルバー事業の理念や仕組み等を地域社会に広く周知するとともに、働くことに特化することなく、生きがいや居場所づくりを目的とした啓発による入会促進、さらに地域貢献や地域の信頼を得るための活動を実施しました。

○ 活動内容

- ア 市内全域へのチラシの配布
- イ バス車内アナウンスによる広報
- ウ 公共施設へのポスターの掲示・会報『黄菊』及びパンフレットの配置
- エ ホームページを活用した入会の受付及び広報
- オ BFMなどマスメディアを通じた情報の発信
- カ 「はちのへシルバー人材センター生き活きまつり」の開催（表13）
- キ ボランティア活動の実施（表14）
- ク 入会説明会開催によるシルバー事業の啓発
- ケ 夫婦会員への会費減免の実施

表13 はちのへシルバー人材センター生き活きまつり

期 日	9月25日(木)
場 所	八戸ショッピングセンターラピア 1Fフェスタプラザ
来場者数	264人(チラシ同数配付)

表14 ボランティア活動

場 所	期 日	活 動 内 容	参加者数 (人)	備 考
みどりと彫刻のふれあい散歩道	6月23日～25日	樹木剪定等	18	庭木班
東運動公園	10月30日	落ち葉清掃	55	会 員
鮫角灯台周辺	11月17日～18日	雑木草除伐	27	公園班
新井田公園	11月28日	落ち葉清掃	41	会 員
合 計			141	

(3) 就業開拓提供事業の展開

新たな就業分野の掘り起こしや就業機会の拡大を図るため、役職員による民間事業所及び公共団体等への訪問による就業開拓を展開し、会員の希望する仕事の提供に努めました。またホームページからの仕事の申し込み（Web受注）やコンビニエンスストアからの代金支払いを可能とする「エイジレス80ネクスト」を継続導入し、受注事務の迅速化・簡略化並びに入金事務の効率化を一層推進することで発注者に対する利便の向上を図るとともに、商工会議所発行の商工ニュースを通じて、民間事業所など約4,000社に対し、9月と2月に発注依頼のチラシを送付するなど受注の拡大に努めました。

(4) 講習・研修事業の実施

会員の知識・技能の習得並びに向上を図るとともに就業機会の拡大に資するため、次のとおり講習および研修を実施しました（表15）。

表15 技能講習・職群班研修等

講 習 会 名	期 日	場 所 等	受講者数 (人)
庭木剪定講習	6月17日～18日	東 運 動 公 園	13
草刈講習	6月10日	東 靈 園	7
スマートフォン教室	7月17日・11月27日	福 祉 公 民 館	25
接遇講習	3月 3日	福 祉 公 民 館	63
うみねこヘルパー養成研修	10月24日・2月20日	福 祉 公 民 館	28
家事援助講習（ハウスクリーニング）	2月25日	福 祉 公 民 館	10
庭木管理研修（庭木班対象）	6月23日～25日	みどりと彫刻のふれあい散歩道	18
毛筆筆耕研修（毛筆班対象）	5月～3月（随時）	福 祉 公 民 館	16
合 計			180

3 情報の提供等

講習の開催日程や行事の諸連絡及び安全就業推進のための情報並びに就業会員募集等すべての会員に情報を提供するため、事務局だよりを発行しました。

また、一般市民に対する情報提供を強化するため、ホームページの利用促進を図るとともに会報『黄菊』を公民館等24施設に配置をしました(表16)。

表16 情報の提供

項 目	回 数	対 象 者	備 考
事務局だより	年6回	会 員	奇数月の発行
会報『黄菊』	年1回	会 員・一般市民	公民館等24施設に配置
ホームページ	随 時	会 員・一般市民	

4 福利厚生の実施

シルバー人材センター団体傷害保険や熱中症見舞金制度への加入を継続するとともに「事務局だより」を通じて熱中症・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防に関する手洗い、うがいの励行、マスクの着用等の呼びかけ等を実施し、会員の健康維持・増進に努めました。また、新入会員に対するSCマーク入り作業帽の頒布や10年並びに20年在籍会員の表彰を行いました。

5 諸会議の開催

センターの維持管理および事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました(表17-1、表17-2)。

表17-1 定款に定める会議

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所 等
定 時 総 会	令和7年 6月13日	八戸グランドホテル
理 事 会	令和7年 4月25日	福祉公民館
	令和7年 9月12日	福祉公民館
	令和7年 12月19日	八戸プラザホテル
	令和8年 3月13日	福祉公民館

表17-2 その他の会議

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所 等
安全・適正就業委員会	令和7年 4月 9日	福祉公民館
	令和8年 3月26日	福祉公民館
普及啓発委員会	令和7年 4月15日	福祉公民館
	令和7年 9月 2日	福祉公民館
	令和7年 10月28日	福祉公民館
	令和8年 3月26日	福祉公民館
班 長 連 絡 会 議	令和7年 4月11日	福祉公民館
	令和8年 1月23日	福祉公民館